

イギリスの城廓事典

—英文学の背景を知る



9784816924408

三谷 康之 著 A5・480頁 定価(本体8,200円+税) ISBN978-4-8169-2440-8 2013年11月刊行

シェイクスピア、トールキン、フォレット…
古典から現代小説まで読み解くために

- 小説・詩・演劇・映画等の舞台として重要な役割を果たしてきたイギリスの“城”について、その周縁の語彙、史実、建築文化、風俗習慣なども総合的に見渡すことができる「読む事典」です。
- 英文学作品からの用例・文例あわせて500編と600点に及ぶ写真・図版を交えて、文学的・文化的・歴史的・視覚的に英文学の背景としての“城”を詳説しています。

- 「参考書目」「索引」付き。

英文学研究はもちろん
英国関連文献の
翻訳資料としても
役立つ!

著者プロフィール 三谷 康之 みに・やすゆき

1941年生まれ。埼玉大学教養学部イギリス文化課程卒業。成城学園高等学校教諭、東洋女子短期大学英語英文科教授を経て、2002～10年まで東洋学園大学現代経営学部教授。

1975～76年まで成城学園在外研究にて、英文学の背景の研究調査のためイギリスおよびヨーロッパにてフィールド・ワーク。1994～95年まで東洋学園在外研究にて、ケンブリッジ大学客員研究員。著書に『イギリス観察学入門』(1996年、丸善ライブラリー)、『童話の国イギリス』(1997年、PHP研究所)などがある。

【目次 (Contents)】

まえがき (Preface)
凡例 (Guide to the Encyclopaedia)

I Castellated Architecture 城廓建築
Gatehouse ; Gate-House 「ゲートハウス ; 門塔 ; 門楼」 / Curtain Wall 「(城廓)幕壁 ; (城廓)防壁」 / Wall Tower ; Mural Tower 「壁塔 ; 幕壁塔 ; 防壁塔」 / Parapet 「胸壁 ; パラペット」 / Keep 「キープ ; 天守 ; 天守閣」 …

II Castle Development 城廓の発達
History of the Castle 「城廓の成立ち」 / Motte (-) and (-) Bailey Castle 「モット・ベイリー型城廓」 / Shell (-) Keep Castle 「シェル・キープ型城廓」 / Keep (-) and (-) Bailey Castle 「キープ・ベイリー型城廓」 / Concentric Castle 「同心円型城廓」 / Courtyard Castle 「中庭型城廓」 …

III Siege Engine 攻城兵器
Artillery 「投擲(兵)器」 / Battering Ram ; Battering-Ram 「雄羊型破壁槌 ; ラム」

付 録
本事典に引用した作家と作品の一覧
本事典に引用した城およびマナー・ハウスの所在地 (Gazetteer)
参考書目 (Select Bibliography)
索引 (Index)
あとがき (Postface)

2016.12

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■書店名	注文書	イギリスの城廓事典—英文学の背景を知る	冊
		定価(本体8,200円+税) ISBN978-4-8169-2440-8☒	
		■お名前	

Keep

キープ; 天守; 天守閣

敢えて'castle keep'ともいう。城廓の中でも避難所」(the ultimate refuge)ともいうべきが国の城の天守閣に相当する。16世紀の用語 donjon; great tower

語源は、城廓の中で最も堅固にして、かつ、(keep)もの、にある。

キープは横断面が正方形の塔(square tower) tower)で、1辺の長さは15~30m、高さは30~40m、しは4階建てである。その四隅は小塔(angle tower)で、小塔の頂部は屋上より上に突き出す形になる。

また、キープの壁の厚さは通例3~6mを保ちつづく。各階の窓の造りは、外敵の侵入に備えられているが、ガラスは初期の頃には未だ入っていない。では「窓」(window)というよりは、単なる採光口(vent)だけであった。

各階の造りは、城によって多少異なるが、ま

	3階建てのキープ
third floor (4階)	
second floor (3階)	(private) chambers (城主とその家族の私 寝室)
first floor (2階) [entrance floor (入口の ある階)]	great hall (大広間)
basement (1階) [ground floor (地階)]	storeroom (食料や武器の貯蔵室)

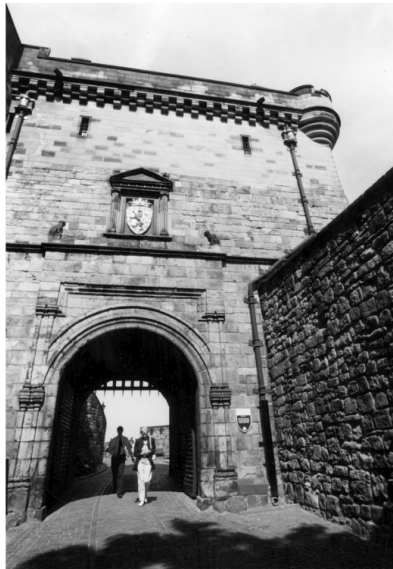
I Castellated Architecture・城廓建築

【文例】

* He advanced and blew the horn which hung at the castle portal. The door was opened in a moment by a frightful giantess with one great eye in the middle of her forehead.

——B.B.Sideman (ed.): 'Jack and the Beanstalk'

(彼は巨大な城門の前まで行くとそこに吊してあった角笛を吹き鳴らした。するとたちまち扉が開いて、額の真中に大きな一つ目の見るも恐ろしい女の巨人が現われた。)



17. 最初の城門。
門塔 (gatehouse) を通過して後にここから
入る。Portcullis Gate, Edinburgh [S]



18. 最後の城門。Foog's Gate, Edinburgh [S]

✳ **castle door** (城門の扉) 上述の'castle gate'の扉を指す。通例はオーク (oak) の板材を使用した2枚扉 (double-leaf door) から成る外開き式 (out-swinging) であった。扉には交差した筋違すじかいが入れられ、さらに鉄製の当て金 (iron strap) や 鋲釘 (stud*) で補強してあった。2枚扉の内の1枚には藩り戸くぐり (wicket*) が付けてあった。閉める際には錠 (lock) の他に門かぬき (bar) も掛けられた。

好評
既刊

イギリス紅茶事典☒ 一文学にみる食文化

☒ 三谷 康之 著 A5・270頁 定価(本体6,600円+税) ISBN978-4-8169-1718-9 2002.5刊

事典・イギリスの橋☒ 英文学の背景としての橋と文化☒

☒ 三谷 康之 著 A5・280頁 定価(本体6,600円+税) ISBN978-4-8169-1877-3 2004.11刊

イギリス「窓」事典☒ 一文学にみる窓文化

☒ 三谷 康之 著 A5・480頁 定価(本体9,143円+税) ISBN978-4-8169-2075-2 2007.12刊